

ネイパルで雪まみれ

1 事業のねらい

冬の自然体験活動を通して、異年齢間の交流を図るとともに、冬に屋外で遊び、運動する機会を提供する。

2 事業の概要

- 期日 R5.1.21(土)～22(日) 1泊2日
- 対象 小学校3年生～6年生 40名程度
- 人数 36名(応募67名抽選) ボランティア6名 講師1名
- 場所 ネイパル森、日暮山

3 プログラム

	13:00	13:10	13:55	17:00	18:00	19:40	22:00
1/21(土)	受付	開会式	活動1【ネイパル森】 仲良くなろう (アイスブレイク)	活動2【ネイパル森】 雪まみれ狩り体験 (林の中を歩き、弓矢で的を狙う)	夕食	活動3【ネイパル森】 たき火をしよう (火を囲み班ごとに交流)	入浴 自由時間 就寝
	7:10	8:45	12:30	13:30	13:50	14:00	
1/22(日)	起床	朝食	活動4【日暮山】 日暮山スノートレッキング (スノーシューを履いて登山)	昼食	アンケート記入	閉会式	終了

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 冬にしか楽しめないフィールドの活用
 - ・活動2では、ネイパル森に隣接した林の中で狩り体験を行うほか、活動4では事前踏査を重ね、下りで登山道ではなく、新雪が積もった斜面を滑り降りるコースを設定した。ともに、積雪期でなければ立ち入ることのできないフィールドを用意し、冬ならではの楽しみを味わえるよう工夫した。
- 自然の中で参加者の交流を促進するためのプログラム構成
 - ・活動1では、グループリーダーを中心に交流の時間を設け、以降の活動で円滑なコミュニケーションがとれるよう工夫した。
 - ・活動3では薪を足さなくても燃え続けるスウェーデントーチを用いることで、参加者同士がコミュニケーションに集中できるように工夫した。冬にたき火を行う意外性も新たな気づきとなった。

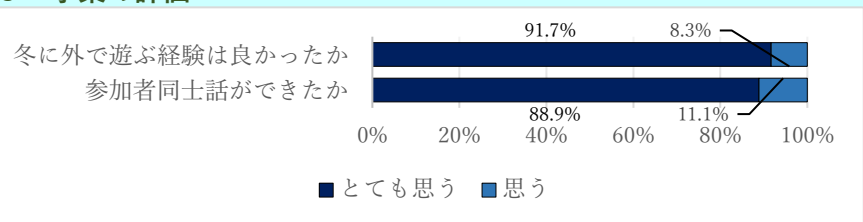


たき火をしよう



日暮山スノートレッキング

5 事業の評価



- 参加者アンケートから
 - ・冬の外遊びに関する項目で、参加者全員から肯定的な評価を得ることができた。
- 参加者の声
 - ・みんなで汗をかいて登ったのが良い経験だった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 積雪期にしか立ち入ることのできない特別なフィールドで、狩り体験やスノーシューといった様々な屋外活動を組み込むことにより、参加者が自発的に雪中活動を行う意欲を高めることができた。
- スノーシュー合わせと歩行練習に想定以上の時間を要し、活動2の時間を圧迫した。アイスブレイクをこれらの活動の中に組み入れるなどし、活動時間を確保するなど、プログラムデザインに一考を要する。



企画のポイント

夏では入ることが出来ないフィールドを活用し、冬ならではのプログラムを設定。